



官民連携によるキャッシュレス化(QRコード決済)実証実験



キャッシュレス化推進の背景

- ◆ 現金管理のコスト削減
- ◆ 商店等の効率化・生産性向上
- ◆ オリンピック・パラリンピック開催 など

秩父地域でQRコード決済の実証実験を実施

参加する商店、鉄道、観光施設でスマートフォンを使い、QRコードを読み込んで支払えます。

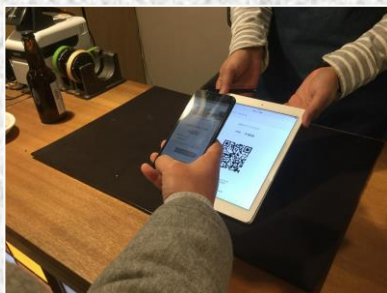
実証実験期間

平成31年2月から6か月

参加店舗・施設

132か所 (平成30年12月末現在)

各店舗(番場通り商店街など)



西武秩父駅前温泉 祭の湯(予定) 秩父鉄道(企画きっぷ)



長瀬ラインくたり(乗船券)



宝登山ロープウェイ(運賃)



観光施設(入場料等)





官民連携によるキャッシュレス化(QRコード決済)実証実験



WIN-WIN-WINの連携

消費者

- ・現金を持ち歩く必要なし
- ・支払い履歴で支出管理が楽に
- ・割引クーポンやポイントバック

商店・施設等 (秩父商工会議所等)

- ・来客数・利用者数の増加
- ・外国人観光客の取込
- ・おつりの受け渡しや毎日のレジ締め作業の簡略化

県 (市町)

- ・住民の利便性向上
- ・地域の観光振興
(国内、インバウンド)
- ・地域活性化

商品・サービス提供

対価の支払い
(キャッシュレス)

利用登録

利用登録

決済事業者

ラインペイ
LINE Pay

楽天ペイ
R Pay

ペイペイ
PayPay

オリガミペイ
ORIGAMI Pay

- ・加盟店の増加
- ・サービスの利用者数増加
- ・決済データの収集
(ビッグデータ化)

- ・実証実験の企画・調整、周知等
- ・効果検証調査

検証のポイント

- ・利用状況(外国人、高齢者等)
- ・支払い方法の変化
- ・その他、地域の声 など

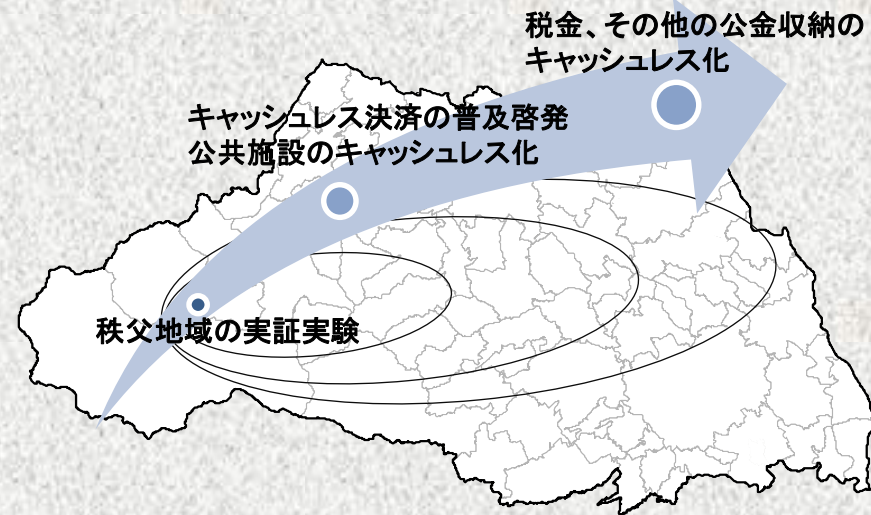


官民連携によるキャッシュレス化(QRコード決済)実証実験



キャッシュレス化の今後の展開イメージ

- ◆QRコードを含むキャッシュレス決済の普及啓発
- ◆公共施設の入館料等のキャッシュレス化（県立博物館や美術館など）
- ◆税金収納のキャッシュレス化の拡大 など



歴史と民俗の博物館



近代美術館